

## 距が無いスマレ

岩田芳美\*・岩田臣生\*

*Viola mandshurica* var. *triangularis* with non spur

Yoshimi Iwata\* and Tomio Iwata\*

筆者らは川崎市青少年科学館紀要 30 号に川崎市宮前区において確認した変種のアツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch.&Sav.) M.Mizush の記録を発表した(岩田・岩田, 2020)。その後も国道 246 号の歩道にてアツバスマレを含むスマレ類の調査を継続したが、その調査の中で距が無いアツバスマレ多数を含むアツバスマレの群落を確認したので、ここに報告することとした。

2020 年 3 月 25 日に宮前区有馬 4 丁目にて確認をしたアツバスマレ群落(図 1)には、距がある変種型スマレ、距が無い白色のスマレが咲き分けている株が多くみられ、また、距が無いスマレのみの株も 7 株以上あった(図 2)。10 月に行った群落の計測では途中に株が無い区間等もあったが、長さ 100m 以上の範囲で分布していた(図 1)。株数は、明らかに別株と判別できる個体が約 130 株。葉が生い茂り、密集しているため株の数の判別が困難なものが 14~15 群あった。なお、1 群の範囲は 0.5~3m 程の長さだった。

3 月に開花をしたスマレは 5 月中旬に熟し、距が無いスマレの株、両方が咲いていた株のどれにも 5 月には種子があった。また、10 月 15 日にも群落の全域にて、多数の種子を確認したが、これらは 8~9 月に閉鎖花をつけたものと推測される。スマレは距に蜜をため、花粉媒介者を引き付ける。今回の距が無いスマレを含む群落の生息地は乾燥したアスファルト舗装の環境であり、果たして花粉媒介者が存在するのか、その確認を今後の課題の一つとしたい。

文末になったが多くのご教示をいただいた明治大学農学部倉本宣教授に感謝を申し上げます。

## 引用文献

岩田芳美・岩田臣生, 2020. 川崎市宮前区のアツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker

var. *triangularis* (Franch.&Sav.) M.Mizush. 川崎市青少年科学館紀要 (30): 45-46.

神奈川県植物誌調査会(編), 2018. 神奈川県植物誌 2018. 1720 pp., 神奈川県植物誌調査会・神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

山田隆彦, 2008. スマレハンドブック. 104 pp., 文一総合出版, 東京.



図 1. 宮前区有馬のアツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch.&Sav.) M.Mizush の群落



図 2. 距が無いアツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch.&Sav.) M.Mizush

\*特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation